

平成 27 年度
奈良県健康長寿共同事業実行委員会
有識者会議
取組方策研究事業

～ 食べる能力と社会参加に関する取組方策の研究 ～

●取組方策研究事業の概要

食べる能力の向上と社会参加の促進

高齢者の口腔機能等 の実態把握

- 老人クラブ会員を対象にした追跡調査等
 - 平成 27 年度未回答者における平成 23 年度と平成 25 年度の状態の変化を分析。
 - 平成 23 年度と平成 27 年度での状態の変化を調査・分析。追跡調査に関連させて口腔状態と疾病・医療費との関係性を分析。

誤嚥にナラン！体操 （「全身運動を通じた誤嚥予防 と身体機能の向上のための体操」） の普及

- 飲み込む機能にリスクのある人へのアプローチ
 - サービス付き高齢者住宅やデイサービスセンターにおいて測定を実施
- 体操の普及
 - 地域巡回指導事業などで、体操の紹介・導入。
 - ケーブルテレビなどを通じた体操の普及
 - 市町村の介護予防リーダー養成講座等と連携した体操の活用。

●高齢者の口腔機能等の実態把握

老人クラブ会員を対象に、口腔と心身の健康状態を経年的に把握するための追加調査を実施。（平成 23 年度：歯科問診
平成 25 年度、平成 27 年度：歯科問診・SF-8）

- 調査対象者：奈良県内の老人クラブ会員
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査時期：1 回目：2012 年 1 月下旬～2 月上旬頃
2 回目：2013 年 12 月～2014 年 1 月中旬
3 回目：2015 年 9 月下旬～10 月初頭
- 協力機関：奈良県老人クラブ連合会

■調査の回収状況

調査方法	総数	性別					年齢				
		男性	女性	無回答	65未満	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	平均値
調査①	102	85	17	0	1	22	32	41	6	0	78.5 歳
調査②	24	16	8	0	1	12	9	1	0	1	73.2 歳
調査③	108	58	49	1	2	46	38	18	3	1	75.2 歳
合計	234	159	74	1	4	80	79	60	9	2	75.6 歳

調査①：平成 23 年から平成 27 年度までの 3 時点実施（1 回目から継続）

調査②：平成 25 年度、平成 27 年度の 2 時点実施（2 回目から追加分として実施・継続）

調査③：平成 27 年度の 1 時点実施（3 回目から追加分として、新規で実施）

※レセプトに関する同意書は、184 件

■過去 3 回分の脱落状況

	平成 23 年度	平成 25 年度	平成 27 年度
平成 23 年度	82 件 (226 件)	42 件 (144 件)	102 件
平成 25 年度		24 件 (48 件)	24 件
平成 27 年度			108 件

◆アンケート調査結果及び医療費との突合分析の概要

●未回答者の大部分が書き忘れによる脱落。一部で体調の悪化による脱落の可能性も

- ・未回答者の半数以上は状態の変化がないことから、大半は書き忘れによる脱落であることがうかがえる。
- ・平成 27 年度回答者・未回答者の平成 25 年度の口腔等の状態を比較すると、未回答者のほうが「物忘れがひどい」「毎日外出しない」の割合が高くなっている。
- ・状態の悪化傾向を経年的な変化で見ると、上記の状態にある人で、口腔等の状態が悪化している人が多く、脱落の要因となっている可能性がある。

●口腔ケアの必要性がより一層明確になってきている

- ・平成 27 年度回答者・未回答者の平成 25 年度の口腔等の状態を比較すると、回答者では「固いものが食べにくい」「奥歯でかみしめられない」人で、悪化している項目が多く、咀嚼機能が低下してきていることがうかがえる。
- ・経年的な状況では、平成 23 年度に比べ、平成 27 年度で物忘れがひどい人や毎日外出しない人の割合が 1.3 倍増加しており、身体的な状態の悪化がうかがえる。
- ・SF-8 の結果をみると、咀嚼機能に関する項目で身体状態の悪化や精神状態の悪化がみられ、体の状態も悪くなっていることがうかがえる。
- ・歯みがき回数の少ない人のほうが噛む能力が衰えており、また物忘れに対する状態も悪くなっており、口腔ケアの必要性が高くなっている。

●口腔状態に課題がある人のほうが複数の疾病を併発している

- ・歯周病のある人は、糖尿病、虚血性心疾患などの生活習慣病を発病しており、あわせて医療費も高騰している。
- ・部分入歯の人のほうが入歯のない人や総入れ歯の人に比べ歯周病が多い。また歯周病がある人のほうが急性上気道感染症になっている人が多く、喉頭への影響がうかがえる。
- ・口腔に問題がある人のほうが歯周病や歯の欠損があり、生活習慣病も併発し、医療費も高くなっている。

平成 28 年度の方向性

■追跡調査と医療費分析の突合せにより、分析内容を深める

⇒平成 27 年度に実施した追跡調査について、同年に取得した医療費情報と突合せを行い、歯の状態と疾病、医療費との関係性を掘り下げて分析する。

特に咀嚼機能、飲み込む機能、お口の状態、口腔ケアなどと、レセプトデータにみられる疾病や医療費との関係性を分析し、口腔機能の低下に伴う心身の状態の変化について明らかにしていく。

■誤嚥にナラン！体操の継続と疾病、医療費との関係性の調査分析

⇒誤嚥にナラン！体操を実施しているグループよりレセプトデータを取得し、体操の実施と医療費との関係性などを分析し、体操の効果検証をさらに進める。

平成 27 年度以降から実施した自治体（桜井市、田原本町等）において、同意を得られた方々のレセプトデータを提供いただき、分析を行う。

●誤嚥にナラン！体操（「全身運動を通じた誤嚥予防と身体機能の向上のための体操」）の普及

飲み込む機能にリスクがある人へのアプローチ

●サービス付き高齢者向け住宅

- ・最終測定を平成 27 年 7 月 7 日に実施。その後、フォローとして平成 28 年 2 月 16 日に実施。

●デイサービスセンター

- ・初期評価を平成 27 年 11 月、最終評価を平成 28 年 2 月に実施。
- ・対象は、田原本園（田原本町）、ぬくもりの郷（川西町）の 2 施設。それぞれ 20 名程度を対象に実施。

【主な測定項目】

- ・運動機能：Timed Up and Go、握力
- ・口腔・嚥下機能：RSST、水飲みテスト、頸部可動域、パタカラなど
咳嗽力、口唇閉鎖圧測定

※分析結果について、別紙参照。

【効果測定に協力いただいた機関・団体等】

飲み込む機能にリスクがある人へのアプローチとして、今年度実施した効果測定において、各種団体・機関をはじめ、医療機関等にご協力をいただいた。

畿央大学	奈良県言語聴覚士会	奈良県理学療法士協会
奈良県言語聴覚士会	奈良県歯科医師会	奈良県歯科衛生士会
エリシオングループ	社会福祉法人いわれ会 田原本園	社会福祉法人いわれ会 ぬくもりの郷

体操の普及に向けた取り組み

●解説書の改訂

- ・解説書は状況にあわせ、随時改訂を行っていくものとした。

●地域への体操の普及

- ・地域巡回指導において、誤嚥にナラン！体操を導入し普及するとともに、要望にあわせて効果測定を実施。
⇒年間における巡回指導の実施状況は、別資料を参照。
- ・市町村の介護予防リーダー養成講座等のプログラム内に体操を導入してもらい、普及を行った。
- ・平成 27 年度介護予防従事者研修会において、誤嚥にナラン！体操の紹介を行った。
- ・市町村のケーブルテレビにおいて、誤嚥にナラン！体操を放映し、市町村内での普及を行った。
(大淀町、下市町、下北山村、川上村で実施。)
- ・平成 28 年度より、奈良テレビを通じて、体操を放映。プログラムの作成中。

平成 28 年度の方向性

様々な機会を通じた体操の普及

- 地域巡回指導などの事業を通じて、今後も継続して「誤嚥にナラン！体操」を普及するとともに、市町村への働きかけを行う。
- これまで「誤嚥にナラン！体操」を導入し、実施してきた市町村をはじめ、県内のメディアを活用し、「誤嚥にナラン！体操」を普及する。

体操の継続的な導入と効果検証

- 平成 27 年度より継続して介入している地域サロン、教室等において、平成 28 年度においても継続して体操を導入していく。
- 平成 28 年度は、体操実施前後の測定結果と疾病や医療費との関係を把握するため、医療情報（レセプトデータ）を取得し、医療費情報をもとにした誤嚥にナラン！体操の効果・検証を行う。

◆有識者会議の経過

項目	日時・場所	内 容	出席者
第1回	平成27年7月2日(木) 15時～17時00分 奈良県社会福祉総合センター 5階研修室C	<ul style="list-style-type: none"> ●「食べる能力」と「社会参加」に関する研究についての実施状況及び今年度の実施内容の報告 	【委員】今村委員長、武田副委員長、花岡委員、松崎委員、中西委員 【体操策定普及メンバー】高取准教授、西田副会長、松本助教 【専門家】野田医大講師 【実行委員会】石原副会長、清水委員(事務局長) 【関係者】勝井次長、仲村事業課長(後期高齢者医療広域連合) 通山課長補佐(県保険指導課)、安田係長(県保険指導課) 井上主任主事(県保険指導課)、堀江技師(県健康づくり推進課) 秋本係長(県地域包括ケア推進室) 【実行委員会事務局】政木次長、山本主査 【業務受託者】小林(ジャパン総研)
第2回	平成27年10月29日(木) 15時～16時30分 奈良県社会福祉総合センター 5階研修室C	<ul style="list-style-type: none"> ●追跡調査結果の中間報告 ●誤嚥ハイリスク者の効果測定結果 ●地域づくりによる介護予防推進にかかる奈良県の取組状況の報告 ●「おでかけ健康フェスタ2015」の紹介 	【委員】今村委員長、花岡委員、松崎委員 【体操策定普及メンバー】松下委員、西田副会長 【専門家】野田医大講師 【実行委員会】石原副会長、清水委員(事務局長)、八木課長(県保険指導課) 【関係者】勝井次長、仲村事業課長(後期高齢者医療広域連合) 安田係長(県保険指導課)、井上主任主事(県保険指導課) 堀江技師(県健康づくり推進課) 秋本係長(県地域包括ケア推進室) 松田支援員(県地域包括ケア推進室) 【傍聴者】奈良県立医科大学の学生 【実行委員会事務局】政木次長、山本主査 【業務受託者】小林(ジャパン総研)
第3回	平成28年3月3日(木) 15時～16時30分 奈良県社会福祉総合センター 5階研修室C	<ul style="list-style-type: none"> ●追跡調査における医療費分析の結果報告と平成28年度の方向性 ●誤嚥にナラん！体操の普及についての今年度の実施状況と平成28年度の方向性 ●誤嚥ハイリスク者の効果測定結果報告 ●三郷町健康サポーター養成講座の実施報告 ●奈良県における歯科口腔保健に関する実施施策(平成27年度)の報告 	【委員】今村委員長、武田委員、花岡委員、中西委員 【体操策定普及メンバー】松下委員、西田副会長、松本助教 【専門家】野田医大講師 【実行委員会】石原副会長、清水委員(事務局長)、八木課長(県保険指導課) 【関係者】勝井次長、仲村事業課長(後期高齢者医療広域連合) 安田係長(県保険指導課)、井上主任主事(県保険指導課) 堀江技師(県健康づくり推進課) 秋本係長(県地域包括ケア推進室) 松田支援員(県地域包括ケア推進室) 【実行委員会事務局】政木次長、山本主査 【業務受託者】小林(ジャパン総研)

◆有識者会議及びワーキンググループ名簿

■有識者会議委員

(敬称略・順不同)

分野	氏名	所属
大学	今村 知明	奈良県立医科大学教授 *委員長
医師	武田 以知郎	明日香村国民健康保険診療所所長
	上田 晴三 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 20 日)	奈良県歯科医師会常務理事
	花岡 靖浩 (平成 27 年 6 月 21 日～)	奈良県歯科医師会常務理事
保健師	松崎 三十鈴	香芝市福祉健康部 健康局局長
高齢者	中西 憲治	奈良県老人クラブ連合会会長

■「誤嚥にナラン！体操」普及委員

(敬称略・順不同)

分野	氏名	所属
言語療法	松下 真一郎	奈良県言語聴覚士会会長
理学療法	高取 克彦	畿央大学健康科学部理学療法学科准教授
理学療法	松本 大輔	畿央大学健康科学部理学療法学科助教
理学療法	西田 宗幹	奈良県理学療法士協会理事